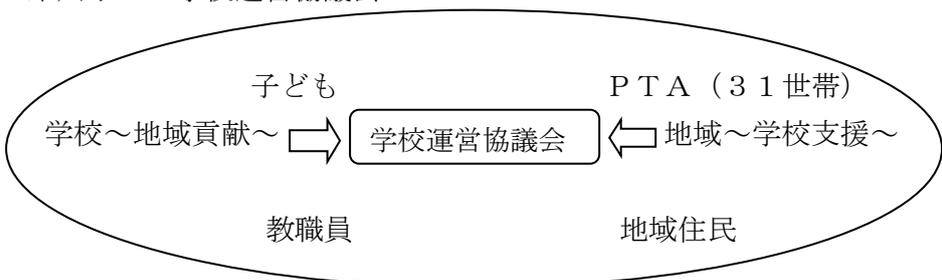


学校と家庭、地域が連携し、米川っ子の「たくましい力」を育むPTA活動

岩国市立米川小学校育友会

PTA名称	米川小学校育友会	
所在地	山口県岩国市周東町西長野574番地	
学校地域の概要・組織	<p><b>【学校地域の概要】</b></p> <p>本校区は、玖西盆地の西部、岩国市周東町米川地区にある。校区を横切る2号線、学校のすぐ横を通る県道144号光周東線（旧山陽道）があり、どちらも朝・夕の交通量が多い。本校は、島田川沿いの田園地帯の中央部に位置し、騒音もない静かな恵まれた教育環境にある。平成18年3月に周東町は岩国市と合併し、岩国市周東町となり、校区が広いことから徒歩通学が3kmを超え1時間以上かけて通学する児童もいる。現在、校区内の人口は約1400名、全世帯数は約700戸である。児童数は、年々減少の傾向がみられ、昨年度から複式学級となっている学年がある。</p> <p>本校は、保護者や地域の方々の学校教育への関心が非常に高く、参観日等の来校者が大変多い。また、朝の読書活動の時間に本の読み聞かせを行う「読み語りの会」（月2～3回実施）が定着している。また、CSの協力により、児童は野菜の栽培活動にも取り組んでいる。さらに、学校運営協議会、育友会、おやじの会の主体的な取組により、地域と共にある学校づくりが進んでいる。</p> <p><b>【学校地域の組織】</b></p> <p>学校運営協議会を核として、コミュニティスクールの仕組みを生かした組織を構築している。</p> <p>米川小CS学校運営協議会</p> <div style="text-align: center;">  </div>	

<p>研究テーマ</p>	<p>周東中学校区では、周東地区小中一貫教育目標を『ふるさとを愛し、心豊かに、たくましく生き抜く、児童生徒の育成』と設定し、めざす児童生徒像や重点取組事項を定め、共通理解を図りながら発達段階に応じた教育活動の実践を進めてきた。</p> <p>本研究のテーマを『学校と家庭、地域が連携し、米川っ子の「たくましい力」を育むPTA活動』と設定した。「未来をたくましく生き抜く力」を児童に育むために、地域と共にある学校づくり、地域に貢献できる学校づくりをどのようにしていけばいいのか、ということを考えていかねばならない。育友会、学校運営協議会、おやじの会、地域の方々と連携を図りながら皆で教育活動の推進に努めていくことが大事であると考えた。</p>
<p>成果と課題</p>	<p><b>【成果】</b></p> <p>本年度は、新型コロナウイルスの影響により縮小された行事等がある中、PTA活動はほぼ例年通り実施することができた。保護者や地域の方々の協力により、学校環境の整備や充実した教育活動を実施することができた。地域と保護者、学校が連携しながら取組を進めることで、児童が安心して活動できる教育の場が実現できている。そして、児童の豊かな心とたくましく生き抜く力の育成、学校教育目標の達成につなげることができている。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>本校の児童アンケートの「大人や地域の人役に立ちたいと思っている」という項目において、児童の割合が7割を下回る結果となっている。地域・社会への貢献に関心をもたせ、よりよい社会を築いていくために、自分たちの住む「米川」を地域の方々と共にどのようにしていきたいか、という願いをもたせることが大切であると考え。地域の方々とつながり・ふれあいを通して、児童の「地域貢献」への思いを高めることができるように、今後の活動において工夫・改善を行っていきたい。</p>
<p>活動内容</p>	<p><b>【安心・安全に向けた取組】</b></p> <p>○学校運営協議会やPTA 育友会役員会の開催</p> <p>学年初めに、昨年度の反省を生かし、年間の活動の取組計画を行った。皆が一丸となって教育活動を進めていくための大事な会議となっている。</p> <p>○地区懇談会の実施・安全マップの作成</p> <p>6月の参観日終了後、地区の危険箇所についての話し合いが行われた。それをもとに、安全マップの作成を行い、各家庭へ配付した。</p> <p>○子ども110番の家の登録・子ども見守り隊の活動</p> <p>子ども110番の家を訪問し、児童の安全・安心のための協力を依頼した。(本年度は17軒登録) また、登下校の見守り隊を行う方々もたくさん登録されており、子どもたちは地域の防犯の力によって安心して登下校できる環境となっている。</p>

活動内容

○おやじの会によるプールの草刈り清掃、校庭の樹木の剪定

美しい学校づくりは、学校の防犯につながるものである。おやじの会の方約10名が校庭の樹木の剪定とプールの草刈り清掃を実施した。旧校舎から植樹したたくさんのカイツカイブキが校庭の周りに植えられている。これまで一人の方が剪定していたが、おやじの会に引き継がれている。



〈校庭の樹木の剪定〉

○夏休み親子奉仕作業・引き渡し訓練

コロナ禍ということで、実施の有無について検討を行い、三密に配慮しながら実施した。児童と保護者は草刈り清掃に取り組んだ。おやじの会の方は、樹木の剪定と畑の草刈り清掃を行った。



〈充電式生け垣バリカンによる剪定〉

親子下校の際、学年ごとに整列し、担任より保護者への確実な引き渡しを行った。本校では、緊急時に備えての引き渡し訓練を、機会を捉えて何度も実施することを心がけている。

【地域とのつながり・ふれあいを大切にした活動】

○読み聞かせの会の方々による「読み語り」

毎週火曜日の朝、読み聞かせの会を中心に、読み語りを実施している。読み聞かせの会に登録されている地域の方は、名である。児童の読書活動の充実が図れている。



〈読み聞かせの会による読み語り〉



〈琵琶の弾き語り〉

9月半ばには、「琵琶の弾き語り」が実施された。琵琶の幻想的な音と迫力のある読み語りにより、児童は物語の世界に引き込まれていた。

○春季大運動会（5月）

コロナ禍ということで、開催に向けての留意事項をCS会議で話し合った。学校運営協議会とPTA、おやじの会の協力により、来校者の確認、入口での来校者カードの受け取り、検温等の安全対策の下、無事に運動会を実施できた。



〈令和3年度の運動会のスローガン〉

保護者や地域に支えられ、児童は安心して教育活動を進めることができている。

活動内容

○敬老の日の手紙（9月）

地域の高齢者への手紙作成に、各学年で工夫して取り組んでいる。高齢者施設への訪問を例年は行っていたがコロナ禍により実施が難しくなった。近隣の高齢者施設への手紙や米川小校区の高齢者への手紙を心を込めて書いて届けることで、心と心のつながり、地域とのふれあいを実感することができる。児童の豊かな心の育成にも役立っている取組である。

○ふれあいフェスタ（11月）

11月の地域参観日を「ふれあいフェスタ」として実施した。「笑顔と感謝」をスローガンに、音楽発表や「みんなで遊ぼうタイム」、野菜の販売等を行った。皆が笑顔でふれあうことができる実り多い行事となった。コロナ感染状況も落ち着いてきたため、来校者を市内在住の家族に限定し（事前予約制）、多くの方々を招待しての実施ができたのでよかった。

【地域と共に取り組む全学年による実践】

○5・6年生の「田んぼアート体験」

田植えについて、学校運営協議会の会長や地域の方に学び、「田んぼアート」の取組を実施している。品種の異なる稲を植えてアートを作製する。



〈田のポイント打ちと田植え〉



6年生が下絵を考え、保護者が考えた図面通りにポイント打ちを行い、田植えを行い、実った稲はすばらしいアートを描き、10月半ばには稲刈りを行うことができた。

○3・4年生の野菜の生産活動

自分の育てたい野菜や果物を選んで、種まきをし、苗をプランターや畑に植えた。キュウリ、オクラ、メロンなどさまざまな野菜や果物を育て、販売するまでの過程を学んだ。無農薬でおいしい野菜を生産する技能や生産性を高め豊かな経済力を生み出す農業の魅力を地域の方から教わった。

○1・2年生を含む全校でのサツマイモの栽培・収穫体験

種芋から苗を育て、その苗を畑に植えた。1・2年生は、サツマイモの苗の植え方等を学校運営協議会の副会長から学んだ。サツマイモ畑の耕作やマルチシートをかけ、畑を完成させるのは、地域の方や教職員の手で行った。10月末には全校で1000個以上の芋を大収穫でき、児童の笑顔があふれる貴重な体験学習となった。

○11月の地域参観日「ふれあいフェスタ」において、野菜やサツマイモの販売を行い、大収穫の喜びを皆で分かち合うことができた。

